

# JAしまねびより

2018

# 2

February Vol.23

特集

島根のいいもの再発見!! 「津和野町 タラの芽」 西いわみ地区本部



石見神楽「<sup>ちがえ</sup>道返し」  
Naomichi  
直通



島根には誇れる農産品がたーっくさん！

# 島根のいいもの再発見!!

直撃・生産者インタビュー！



東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！

## 【津和野町 タラの芽】

2月は、西いわみ地区本部。鹿足郡津和野町で、山菜を生産している、日原タラの芽生産組合の永田寿秋組合長、生産第一人者の田中幸一さん、お二人に話しをお伺いしてきました。



商人集落さっての商人、田中さん。

### タラの芽の生産をはじめどのくらいになりますか？

昭和62年から、日原の商人（あきんど）集落で生産への挑戦がはじまりました。その後こごみ、ウルイなどの山菜の栽培も加わり、昨年でちょうど30年になります。この辺りは中国山地の山あい位置しており、高津川の支流が流れ、水は綺麗で自然豊かな反面、平坦な農用地が1パーセント未満の中山間地。

平野が広がる地域で栽培される品目と同じものを生産するには、地理的な制約や生産効率が悪く、農業を続けていくのが難しい地域です。農業を生業（なりわい）として暮らしていくためには、山の民は山の民らしく、山菜を作るのが一番良いのではないかと考えました。もともとこの商



山の民という言葉に、中山間地域の課題解決法的一端を感じた。

人集落では、時代ごとに生産品目が変わってきました。中山間地というハンデがあることで、いろんな品目に挑戦し続け、チャレンジ精神が旺盛な農業人が多くいた証です。

### どのように栽培するのですか？

タラノキの母樹を畑に一定間隔に植えて、芽吹かせるための原木を1年で約2メートル50センチ程度の高さに育てます。その後原木を10センチ前後に切った「駒木」にして、ハウスの中のベンチに並べて育てます。7センチ程度になった芽を選定し、ハサミで一つずつ丁寧に摘み取り収穫します。収穫したものは50グラム・5本前後にパック詰めにしたものを全量、JAしまねに出荷しています。1月から本格的に出荷がはじ

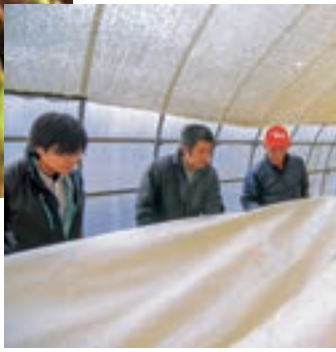


勝手なイメージとは違う「山菜」の生産現場の風景が広がっていました。





ベンチに詰まるノウハウと技術は、部会外へは門外不出。特別に見せていただきました。



栽培をはじめた当初は、何よりも視察に行く場所がほとんどありませんでした。中・四国や九州はじめ先進地が全

### これまでに苦労してきたことや、大変なことなどありますか？

県内はじめ、関西や九州などの市場へ出荷しています。



研究の末に辿り着いた、生育に適した環境の中にはタラの芽がびっしりと。



「はかま」と呼ばれる茶色い皮をむいて、天ぷらなど、単純

### タラの芽のオススメの食べ方などありますか？

増やす努力を続けています。

くないなかで、農業系の印刷媒体でタラの芽の記事を見つけ、載っていた山梨の生産組合長に会いに行き、栽培方法を学びました。ただ、再現してもなかなか上手くできない年月が続き、38人いた組合員は9人にまで減った時期もありました。なぜ上手くできないのか山に入って自生しているタラノキを徹底的に研究し、試行錯誤を繰り返しながら平成4年頃から、少しずつ地域にマッチした技術体系が出来上がってきました。現在は1ターソンしてきた7人を加えて、組合員も38人まで回復。U・Iターソンの若い就農者はじめ、どんどん受け入れて生産量を

## タラの芽 一口メモ

日本全国の山に自生しているタラノキはウコギ科の落葉低木。新芽を「タラの芽」「タランボ」と呼び、春の訪れを感じる食材として「山菜の王様」と言われている。島根のほか山形や富山、徳島などで栽培。たらの芽はカリウムを多く含み、食物繊維や葉酸などのビタミンが豊富で、古くから薬用、食用として愛されている。津和野・吉賀両町と益田市の生産者で組織する日原タラの芽生産組合では、タラの芽のほか、ウルイ、こごみ、フキノトウなどの山菜を栽培している。



の食材として料亭等の高級店で重宝されてきましたが、多

### 今後の抱負や展望を聞かせてください。

な味付けや調理方法で味わうのがオススメです。技術の進歩で1年中食べられる食材が増えました。タラの芽は春を感じる季節食材。ほのかで上品な苦味、ほっくりとした歯ごたえを楽しんでもらいたいです。天ぷらのほか、さつと茹でて酢味噌を付けて食べても美味しいですし、バター炒め、火を通したタラの芽に、すり胡麻と醤油・砂糖であえた胡麻あえも風味いっぱい味をしかり感じるができます。



これまでの取り組みを次のステップへ。永田組合長のまっすぐな眼差しが印象的でした。

くの人に食べてもらおうとJAとタッグを組みながら大事に育ててきました。猫の額ほどの小さな面積でも露地を最大限に活用。タラの芽からスタートした山菜づくりは、今では数種類の山菜を栽培するまでになりました。これまでのファンの人達に品質・鮮度の高い自慢の山菜を届け続けるのももちろん、誰でも気軽に食べることができ、身近な食材としてPRしていきます。



真っ白な姿の「ウルイ」。山菜といえば日原と言われるような様々な品種で市場のニーズへ。

す。ここ数年は、若いU・Iターソンも加わり生産量も増加しています。これまで組合の門を叩いて出て行った人は、いません。新規就農者には、徹底したサポートを心掛けて、苦労して確立した技術の伝授を既存の組合員全員が惜しみなく協力しています。これらの30年は勢いのあるものと信じ、総合的な山菜の産地として広く知られる地域になるよう取り組んでいきます。



# JAの「自己改革」って何？



「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に、JAが自ら進める改革のことを言います。JAしまねでは、役職員の意識改革に取り組み、組合員との対話やアンケートにより組合員の声を事業に反映できるよう努めていきます。また統合のメリットを發揮し所得増大や生産拡大につながる以下のような取り組みを行っています。

## JAしまねの取り組み

- ☑ 営農座談会や各種集会などで、役職員が組合員の皆さまから直接意見や要望をいただく機会を増やします。
- ☑ 島根県全域で振興・生産を奨励する品目を県域品目として、地区本部が独自に振興していく品目を地域品目として、本店と地区本部が連携して生産振興・販売対策を行っています。
- ☑ 生産資材(肥料・農薬等)の銘柄を集約し、統合メリットを生かした共同購入により、徹底した価格交渉の上、コスト低減に取り組んでいます。
- ☑ 改正農協法に伴い、次回の役員改選(平成31年6月)に向けて、農業の現場の意見・ノウハウが反映されるように検討を始めています。
- ☑ 地域の活性化実現に向けて、営農だけでなく食農教育や社会貢献活動、子育て支援活動などのくらしの活動を行うとともに、JAの「総合事業」を通じて地域のインフラの一翼を担っています。



## JAの自己改革に関する組合員アンケートへのご協力について

JAしまねでは、自己改革の取り組みに対する皆様の評価をお伺いして、より一層組合員の皆様の負託に応えるとともに、組合員の協同による総合事業によって、魅力ある地域の農業やくらしを支えるJAであるために、無作為に選ばせていただいた3,000名を対象に組合員アンケートを実施することといたしました。

**3月1日(木) から22日(木) の期間に、対象者の皆様宅へご訪問させていただきます**ので、ご協力いただきますようお願い申し上げます。



## 理事会情報 (12月25日開催)

- 報告事項**
- ① アグリミーティング・島根大産直市について
  - ② 平成30年度産米の生産数量の目安について
  - ③ 米穀園芸情勢について
  - ④ 畜産情勢について
  - ⑤ 全農肥料集約銘柄最終決定仕入価格について
  - ⑥ 高齢者ATM取引の制限について
  - ⑦ 相続事務手続き支援システムの導入について
  - ⑧ 平成29年度第4四半期の余裕金運用計画および運用方針について
  - ⑨ 平成29年度JA共済コンプライアンス点検結果報告について
  - ⑩ 重大な不祥事件報告および対応について
  - ⑪ 平成29年度反社会的勢力の三次認定について
  - ⑫ 事務ミス報告について
  - ⑬ 組合と理事との取引(契約)の報告について
  - ⑭ 自主検査実施報告について
  - ⑮ 平成29年度農林水産省・島根県(二者)による検査結果について
  - ⑯ 平成29年11月末月次決算報告について
  - ⑰ 「出雲コーナン」の商標登録について
  - ⑱ 業務用固定電話会社の統一について
  - ⑲ 電気使用量抑制に向けた現場調査の実施について
  - ⑳ JAしまね本店の施設管理について
  - ㉑ 「JAの自己改革に関する組合員調査」試行調査の実施について
  - ㉒ 平成29年度年末賞与交渉結果について
  - ㉓ 外部有識者会議の設置、諮問について
  - ㉔ 事業運営改革の取り組み状況について
- その他 ① 農政をめぐる情勢について  
 その他 ② 青年・女性理事 活動報告等
- 協議事項**
- ① 平成29年度JAしまね農業振興支援事業第4回(12月)申請について
  - ② 平成30年度農業振興支援事業の要項・要領(案)について
  - ③ 平成29年度産島根米の追加確定金準備について
  - ④ 畜安法改正に伴う生乳受託販売規程の一部改正について
  - ⑤ くにびき地区本部旅行業務の農協観光への移管と旅行センター廃止について
  - ⑥ 資産査定要項等の一部改正について
  - ⑦ 組合と理事との取引(契約)の承認について
  - ⑧ 組織基盤強化における役職員の増資運動について
  - ⑨ 重要な就業規則制裁条項の適用について



雲南

## 部署間連携で提案力強化 利用者の満足度向上を目指す

雲南地区本部は部署間連携に積極的に取り組んでいます。その一環で「クルマスターの日」と命名した自動車共済推進強化期間中は、共済窓口担当者やLA（ライフアドバイザー）、事故処理対応をする自動車共済審査員の三者の専門性などを活かし、自動車共済の最高水準保障「クルマスター」契約による万全保障の必要性を利用者へ呼び掛け、より安心していただける保障の提案を目指しています。

1月12日には地区本部で「クルマスターの日」の進発式を行いました。役職員40人が集まり、情勢報告や連携をより強めるためにはどうすればよいかを支店毎に話し合いました。

同地区本部の竹下克美副本部長は「部署の枠を越えて一体的に取り組み、利用者のためのJAを目指して欲しい」と話し、今後連携した活動を恒常化したい考えです。



地域ナンバー1を目指し一丸となる職員

くにびき

## くにびきキャベツ出荷！ 厳寒乗り越え甘味強く

東出雲町揖屋の中海干拓地で育った「くにびきキャベツ」の出荷が盛んになっています。春ごろまで出荷は続き、生産者は収穫や選別作業に追われています。

くにびきキャベツは、中海干拓地で栽培されるキャベツのことで、関西圏を中心に年間1,000トン前後の出荷量を誇り、県内産キャベツの出荷量の大半を占めます。平成24年には、高い品質と安全性を有した農林水産物だけが受けられる「美味（おい）しまね認証」にも選ばれました。

12月中旬ごろから本格化した出荷作業は、寒波の到来もあり、雪が降る中で収穫する日もありましたが、生産者は丁寧な手つきでキャベツを箱詰めしていきました。中海干拓事業所の小室陽二所長は「寒さを越えたキャベツは甘味が強くおいしいので、ぜひ味わってほしい」とPRしました。



収穫作業をする生産者

隠岐

## 水稻栽培研修会を開催

隠岐地区本部は1月19日、隠岐島文化会館で平成29年度水稻栽培研修会を開催しました。

水稻生産者、関係機関約30人が出席し、29年産米の集荷状況や品質、30年産以降の取組方針、経営所得安定対策の概況、きぬむすめの栽培方法、省力化資材などの説明を行いました。

この研修会は、平成27年のJA統合を機に毎年開催しており、今回で3回目となりますが、30年産から始まる新たな生産調整の中でも売れる米作りに取り組む必要があることから、コシヒカリからきぬむすめへの品種誘導に重点をおいた内容で開催しました。

隠岐の島町産米については、特に飯米農家を中心にコシヒカリの作付けが多く、近年の気候変動などから品質が不安定で1等米比率のばらつきも見られ、収率的にも不安定な状況となっています。同地区本部では新たな生産調整も考慮し、近年比較的安定しているきぬむすめへ作付移行していく方向で現在取り組んでいます。西郷ライスセンターでは乾燥機を新たに整備したことで受入れ体制を整え、対応をしています。



やすぎ

## 新たな取り組みへ安全祈願

やすぎ地区本部は安来市飯島町にある「JAしまね やすぎデイサービスセンターふれあい」の建物新築工事に伴い、工事期間中の安全を願って、12月27日に安全祈願祭（地鎮祭）を執り行いました。

地域、とりわけ農家組合員家庭において今日問題とされるのは、後継者不足や組合員の高齢化とともに、家族の介護にかかる問題です。今後JAが取り組む介護福祉事業に対する期待が高まることは必至であり、JAとしても組合員のみならず、地域社会から求められる事業として取り組んでいかなければなりません。

今回のデイサービスセンター建物新築に伴い、ご利用者の皆様、地域の皆様のご期待に応え、より良いサービス提供に努める所存です。





## 斐川

### 出荷者協議会感謝の集い開催

1月10日、JAしまね斐川グリーンセンターに野菜等を出荷する生産者で構成されている野菜等出荷者協議会が、斐川町内にある出雲空港ホテルで「感謝の集い」を開催しました。

当日は関係者を含め約130人が参加し、昼食を食べながらお互いに情報交換したり近況報告をしたりしながら親睦を深めました。催し物では、JAしまね米穀園芸部の須山一部長補佐による「最先端の産直市場」「美しい出荷物の例」についての紹介と、福間花子さんと白石勢津子さんによる「出雲弁の寸劇」が披露され、日常の会話を面白おかしく話す内容に、笑いの渦が巻き起こり、会場は大いに盛り上がりました。

出荷者協議会ではこのような集いを毎年開催しており、今年で13回目となりました。年を重ねるごとに仲間の輪も広がり、元気に楽しく活動できることに感謝しながら、皆さん和やかなひと時を過ごされました。



出雲弁の寸劇披露

## 石見銀山

### 女性部が「JA自己改革研修会」

JAしまね石見銀山女性部が、1月18日に大田パストラルで「JA自己改革研修会」を開き、フレミズを含む支部長13人が出席しました。

研修会では、石見銀山地区本部の山崎辰次本部長を講師に、JAや地域農業がおかれた状況や、自己改革の進め方について、身近な例えを挙げながら説明を受けました。山崎本部長は「JA綱領が謳うこの国の豊かさは、中山間地の小規模な農業が築いてきたもの。JAは自己改革により体質強化し、地域の暮らしを守っていく」と、女性部への理解と協力を求めました。同女性部の森脇岸江部長は「自己改革は私たちの問題でもある。運動の実践者として、JAとともに改革に挑戦し、地域の暮らしを支えていきたい」と感想を話しました。

同女性部では毎年1月にJA役職員との意見交換会を開いており、今年は趣向を変え、間近に期限が迫る自己改革についての研修会としました。研修会にはJA各部門の部長も同席し、自己改革の他、事業に関する要望にも応えました。同JA安江浩樹総務部長は「女性部がJAとともに取り組む教育文化活動こそJA自己改革の入り口である。今後力強く進めてほしい」と支部長を激励。JA、JA女性部の気持ちを一つに自己改革を進める決意を固めました。



山崎本部長（中央）の説明によりJA自己改革への理解を深める女性部員

## 隠岐 どうぜん

### 産直部会総会開催

JAしまね西ノ島支店産直部会は1月26日、西ノ島支店で「第5回JAしまね西ノ島支店産直部会通常総会」および「第5回農産物持寄会」を開催しました。当日は、今冬いちばんの積雪と寒風のなか、約20人の産直会員の参加がありました。

総会では、上程した議案の承認の他、昨年実施した斐川地区本部や同地区本部管内の農家への視察研修の報告を行いました。

積雪で農産物の集荷が危ぶまれた持寄会では、展示した農産物を会員が相互に評価し、会長賞1点、副会長賞2点、本部長賞1点を選出して、各受賞者から「ワンポイント栽培法」を教えてくださいました。また、隠岐支庁農林局農業専門普及員の矢野仁士さんによる「春野菜作り講習会」を受講し、今期販売高10%アップを目標とすることとして、和気あいあいのうちに全日程を終了しました。



## 出雲

### ラピタ恒例のとんど祭り 無病息災を願う

生活購買店舗「ラピタ」は1月12日、出雲市神西沖町で「とんど祭り」を開きました。ラピタのとんど祭りは、小正月行事の火祭りとして昭和40年ごろから続く恒例の催しです。

ラピタでは、とんど祭りを行わない家庭向けに、市内全9店舗に正月飾りの回収箱を設置。集められたしめ縄などは山のように積み上げられ、点火すると大きな炎が舞い上がりました。雪が舞う中、訪れた地域住民は立ち昇る火を囲み、今年の無病息災を願いました。

同地区本部生活部の川上弘信部長は「地域に根ざしたラピタとして、伝統行事を守ることに意義があると考えています」と話しました。



無病息災を願って火にあたる地域住民



島根おおち

## 米のヒット甲子園で大賞受賞

島根おおち地区本部では、「販売に結びついた米作り」として、「石見高原ハーブ米」の生産振興に取り組んでいます。

この度「石見高原ハーブ米きぬむすめ」が日経トレンドイヤー主催「米のヒット甲子園」で全国195銘柄の中から9銘柄に選ばれ、「今一番食べてほしいお米」の大賞米に選ばれました。大賞米は東京自由が丘の料理店で期間限定特別ランチメニュー「ごはんがすすむ京のおかず御膳」として提供されました。

「石見高原ハーブ米」はクローバーを稲刈り後の水田で育て、田植え前の

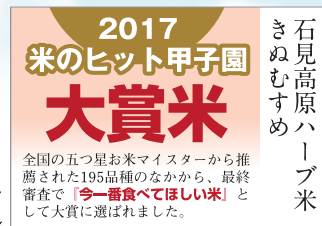


緑肥としてすき込むことで化学肥料を99%抑えた方法で栽培しています。農薬は通常の5割減で取り組み、環境にやさしい「エコロジー農産物」として生産しており、広島や東京方面へ販売しています。10年以上にわたるハーブ米の取り組みが評価されたことを糧に、より安心安全な売れる米づくりを目指していきます。

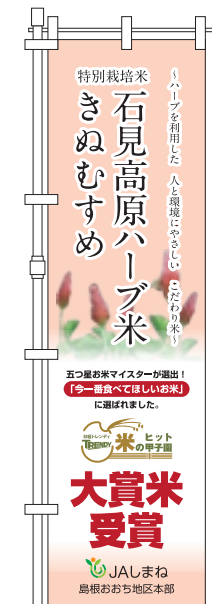
お問い合わせはJALしまね島根おおち地区本部米穀農産課 (TEL:0855-83-1623) まで。

「米のヒット甲子園」とは

全国の五つ星お米マイスターに、お薦めの新米を3つ挙げてもらい、得票数で上位に選出された9銘柄を対象に味覚審査会を実施。審査委員長を含む7人の審査委員が官能審査で大賞米を選ぶ。消費者目線からお米の味と米食の魅力を伝え、一層おいしくお米を食べる日々をサポートする。



シール



のぼり



懸垂幕

西いわみ

## 「吉賀美玉」に決定

### 吉賀米のネーミングとロゴの表彰式を実施

吉賀米推進協議会（会長吉村諭）は12月22日、吉賀米のネーミングとロゴマークの表彰式を鹿足郡吉賀町の県立吉賀高等学校で行いました。

同協議会は、生産者16人で農薬と化学肥料を県基準の半以下に抑えながら、清流高津川の源流地で安心安全な米作りに取り組んでいます。生産した米は「吉賀米」として大阪市内の米穀店などで販売していますが、産地間競争が激化していることから、多産地との差別化をPRするため、新たな名称とロゴマークを作成し、ブランド化を図ることにしました。地元一丸となった取り組みとするため、町の未来を担う地元高校生にアイデアを募集、昨年7月にプレゼン大会を開催し、審査を行いました。その結果、ネーミングは同校2年生の秋山一平さんの「吉賀美玉（よしかびぎょく）」が、ロゴマークは3年生の大庭智里さんの、清流高津川が流れる吉賀町を茶碗に見立て、その中で育つ稲穂をテーマにした作品が選ばれました。

同協議会は「これをきっかけに高校生や地元住民と一体となった活動で地域を盛り上げてほしい」と意気込みを語りました。



ネーミングを考えた秋山さん（右から2人目）とロゴを考えた大庭さん（左から2人目）

いわみ中央

## いわみの母ちゃん漬け 漬け込み作業始まる

いわみ中央地区本部では、JA弥栄女性部（部長 徳田マスエ）が大根の栽培から加工まで行って作るたくあん漬け「いわみの母ちゃん漬」を販売しています。今年度も、昨年9月に大根の種を播き、11月に約2,000本を収穫しました。収穫した大根は、洗って陰干しします。12月に陰干した大根を塩漬けし、1月に大根の本漬け作業を女性部員で行いました。



無添加の昔ながらのいわみの母ちゃん漬は好評で、「懐かしいたくあんの味で、古漬けになっても美味しいから、毎年買っています」という消費者の声も聞きます。昨年度から、JA女性部弥栄独自の加工事業として取り組み、部員みんなが楽しみながら取り組んでいます。4月になると販売がスタートします。





営農技術情報

2月に入りましたが、今年は例年と比べ寒さが厳しいと感じられている方も多いのではないのでしょうか。

3月から水稻の準備が徐々に始まりますが、今回は近年隠岐島内でも春先の気温上昇などにより育苗段階で多発している「ムレ苗」や「苗立枯病」の薬剤防除についてお繋ぎしたいと思います。

今回ご紹介する農薬は「タチガレエースM液剤と粉剤」です。液剤は発芽後処理、粉剤は土壌混和で使用する剤で、育苗期主要病害虫防除以外に健苗育成にも効果があります。

近年、農薬は散布条件の悪化や散布労力に対する負担感から年々散布される方が少なくなっているように感じます。この剤は苗立枯病、ムレ苗を防ぐだけでなく、根は太く、白く、根毛の多い活力の高い根が得られ、また苗素質が向上して栽培環境に対する抵抗力がつき、移植後の活着、初期生育も良い健全な苗となりますので、是非ご利用いただければと思います。

詳しく知りたい方については、経済課（TEL 2-1133）までお問い合わせ下さい。



**商品名：タチガレエースM液剤**  
100ml／税込980円、500ml／税込4,690円

（価格はいずれも現在の当用価格となります）

500～1,000培で使用する場合  
苗箱1箱（使用土壌約5L）あたり500mlの散布が目安  
発芽後じょうろで散布できます



**商品名：タチガレエースM粉剤**  
1kg／税込1,610円、3kg／税込4,620円

（価格はいずれも現在の当用価格となります）

播種前の育苗箱土壌に混和する場合  
苗箱1箱あたり6～8gの混和が目安

能力共進会宮城大会の結果と反省点、次回平成34年に開催が予定されている鹿児島大会へ向けての取組みについて講義がなされました。

また、7名のパネラーによる意見交換会も行なわれ、隠岐の畜産振興について活発な意見交換がなされました。その中で和牛改良や飼養管理技術、担い手支援の要望等の意見が多くだされ、隠岐でも今後畜産農家の高齢化による離農が懸念されることから、畜産の担い手づくりに取組むことが重要になると考えます。現在、当和牛改良組合では年に数回研修会を実施し、研鑽を重ねる中で和牛改良を進めています。

（報告／経済課）



1月22日（月）、隠岐島後認定和牛改良組合は「今後の隠岐の畜産振興」をテーマとした研修会を隠岐支庁内会議室において開催しました。

研修会には当和牛改良組合の組合員、全国和牛登録協会、島根県農林水産部畜産課、島根県畜産技術センターなど関係者約20名が出席し、昨年9月に開催された全国和牛

平成29年度  
隠岐島後認定和牛改良組合研修会を開催

J  
A  
N  
E  
W  
S



「産直市商品づくり」及び「農業適正使用」  
研修会を実施



1月19日（金）隠岐島文  
化会館にて隠岐農産物生産  
者協議会のあんき市場販売  
会員に対して「産直市での  
商品づくり」及び「農業の  
適正使用」についての研修  
会を開催しました。

講師にJ Aしまね本店米  
穀園芸課の須山部長補佐、  
隠岐支庁農林局の矢野普及  
員を招き、産直市において  
品薄になる商品や魅力的な商品づくり、また、ほ場  
における農業の適正使用等について研修し、県内他  
産地の様々な良い例、悪い例の事例紹介等もあり、  
内容もわかりやすく皆熱心に聞き入っていました。  
魅力的な商品づくりでは、商品を入れる袋は少し  
余裕を持って大きめのサイズの袋の方がより魅力的  
になるとのことでした。

また農業の適正な使用について特に気を付ける点  
は、農作物の食用部位が異なる場合、生育状況が異  
なる場合、用途が異なる場合等で使用出来る農業も  
異なることです。具体的な例として「未成熟ささ  
げ」と「ささげ」、「ブロッコリー」と「茎ブロッコ  
リー」、「トマト」と「ミニトマト」、「ねぎ」と「わ  
けぎ」および「あさつき」で、それぞれ使用出来る  
農業の登録が異なります。

近年、産直市の「あんき市場」で特に不足しがち  
な農産品目は、5～6月及び9月に「きゅうり」、  
4～6月に「ほうれん草」、5～9月には「キャベツ」

が不足していますので、隠岐農産物生産者協議会で  
は作付拡大を図り、これまで以上に安全・安心を担  
保した販売に繋がるよう取り組んでいく予定です。

（報告／経済課）

「縁三国結び米」合同販売促進の開催



島根米あり方検討会  
でしまね米を牽引する  
目的として「こだわり  
米部門」が設置され、  
隠岐地区本部「島の香  
り隠岐藻塩米」・石見  
銀山地区本部「水感つ  
や姫」・島根おち地  
区本部「ハーブきぬむ  
すめ」の3地区が選出  
され、3地区のこだわ  
り米の総称として「こ  
縁三国結び米」と命名

し、3地区本部合同で東京目黒の㈱スズノブ店頭で  
特産品販売を活用した販売促進活動を平成29年11月  
10日（金）～11日（土）で実施しました。来店者には  
隠岐の松葉ガニの味噌汁を振る舞い、各地区本部  
のご飯を試食してアンケートに記入いただき消費者  
の感想を直にお聞きすることができました。この結  
果を踏まえ新たに始まる生産調整やT P P 11の動向  
に対応できる栽培および販売に取組んでまいりま  
す。

（報告／経済課）

お便りコーナー

読者の皆様のご意見・ご感想をご紹介します

- ・毎年、害虫対策に四苦八苦していますが、  
技術情報は大変参考になりました。（大久・Sさん）
- ・来店感謝デーの催しを知らなかったので行  
かなかったのですが、クジ引きが出来ず残  
念でした。（原田・Mさん）
- ・営農技術を読み、農業使用量を家庭用畑に  
目分量で撒いていたので、説明書を確認す  
ることにします。（上西・Hさん）
- ・風邪の季節「健康散歩」を参考に予防  
につとめます。（原田・Sさん）
- ・この前商品券で灯油を購入しました。たす  
かりました。佐々木本部長、本年もよろし  
くお願いします。（上西・Fさん）
- ・「インフルエンザ・風邪の予防の為、人が  
集まる場所から帰った時のみ手洗い・うが  
いをしていたが、常に帰宅時、食事前に手  
洗い・うがいを習慣にしたものです。（栄町・Uさん）
- ・加療中でしたので久しぶりの投稿です。イン  
フルに負けない様、身体づくりにがんば  
ります。野菜をたくさん食べて。（港町・Mさん）
- ・最強寒波に参った、参った。我が家の雪か  
きスコップも折れました。（栄町・Kさん）
- ・先月号クロスワードクイズの答え「フキノ  
トウ」も、もうすぐ見つかるかな？一番に  
「クロスワード」、2番に健康散歩、それか  
ら2ページからゆっくり読んでいます。地  
区本部トピックスは県内の情報がわかり楽  
しいです。（有木・Mさん）
- ・毎月楽しく見させていたでいてあります。（都万・Mさん）
- ・今年は寒い冬ですね。クロスワードパズルで  
楽しんでます。解けたときは嬉しいですよ！  
早く春が来て欲しいです！（卯敷・Hさん）

【お便り募集中】  
本誌「クロスワードパズル」コーナーの応募要項をご覧  
ください。  
本誌「J Aしまねびより」またJ Aに対するご意見・ご感  
想をぜひお聞かせください。

年金友の会「楽・楽」

# 感謝祭開催のご案内

平成30年 **3月10日** 土

午前 **9時30分**開場～午後 **1時**終了予定

場所 **隠岐島文化会館**

◆参加料 **無料**

◆参加条件 **JAしまねで年金をお受け取りの方**  
(同居の家族も可)

◆送迎 **無料送迎あります**

◆申込方法 **下記お問い合わせ先へお申込みください**



## 大ホールアトラクション

**午前10:00～**

○恒例のJA職員による劇や合唱・踊り

**午前11:00～**

○小川たける 歌謡ショー

<小川たけるプロフィール>

出身地：松江市

生年月日：1988年2月3日

2014年4月、デビューシングル

「涙あそび／ふたりの城下町」発売

松江市の観光大使／ふるさと親善大使（遣島使）



**午後12時～**

○お弁当の無料配布

○100円均一コーナー

(内容が変更になる場合があります)

**午後12時～**

**格安スマホ相談会**

家計の大幅節約  
電話番号はそのまま!!で  
月額料金が大幅に削減

【お問い合わせ先】 島根県農業協同組合 隠岐地区本部  
 隠岐支店／2-1132 中村店／4-0003  
 五箇支店／5-2231 都万支店／6-2004





LINEでの家族とのコミュニケーションやインターネットでの検索をしてみたいけど、スマホに変えるのは抵抗がある…



離れた家族の電話での声だけでなく、たまには顔も見たい…

# JALしまねの格安SIMで タブレットを始めてみませんか？

※初期費用として、以下の手数料が必要です  
登録手数料：3,000円(税別)  
SIMカード発行手数料：394円(税別)

## ①ドコモの回線を使用！

NTTドコモの通信エリア内であれば、どこでも通信可能です！

## ②月額料金が安い！

月額利用料が大幅に削減でき、自分に合ったプランで契約ができます！

※データ専用SIM(タブレット用)の場合、1ヶ月あたり900円<sup>(税別)</sup>~のご利用が可能

## ③インターネットでかんたん検索！

気になったことや知りたいことなどは、インターネットですぐに検索できます！

知りたいことは、手だけでなく声でもかんたんに入力し、検索できます！

## ④アプリを使って、離れた家族とコミュニケーション！

LINEなどのアプリを使い、離れた家族と文章のやりとりだけでなく、

電話はもちろんビデオ通話や写真の共有もできます！



HUAWEI MediaPad T3 価格:17,800円(税別)

画面サイズ：約8インチ

CPU：クアッドコア 1.4GHz

カメラ：500万画素

ROM：16GB RAM：3GB

SIMサイズ：nanoSIM

本体サイズ：約125mm×211mm×8mm

重量：約350グラム

お問い合わせ先：JALしまね 隠岐地区本部 経済課 ☎2-1133

# チンゲンサイ

板木技術士事務所 ● 板木利隆



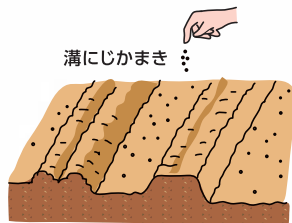
中国華中地方の原産で、中国名は「青梗菜」。ハクサイの仲間ですが、茎が青くて結球しないのでこの名があります。戦後中国から導入された野菜は数々ありますが、チンゲンサイはその代表選手といえましょう。

一番の特徴は、火を通すと緑色が鮮やかさを増し、煮崩れ、目減りが少ないことですが、あくがなく、煮物、炒め物、おひたし、あるいは漬物にと使い道は広がります。

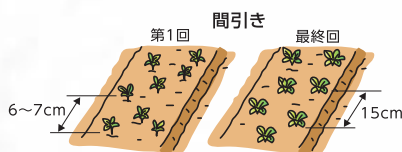
冷涼な気候を好み、生育適温は15~22度ですが、暑さ寒さにも葉菜類のうちではかなり耐える方で、4月下旬から9月中旬まで種まきでき、案外育てやすいので、家庭菜園にお薦めの野菜です。

畑にじかまき、または育苗して植え付けと両方ともできますが、長い間収穫を楽しむにはじかまきを、そろった良品を畑の回転良く収穫するには128穴のセルトレイ育苗をと、使い分けると良いでしょう。

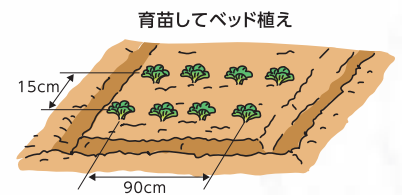
じかまきの場合には、あらかじめ全面に完熟堆肥、油かす、化成肥料を15cmぐらいの深さに耕し込み、準備しておいた畑に、くわ幅(15~17cm)のまき溝を作り、2~3cm間隔に種をばらまきます。覆土は2~3cm厚さとします。夏に向かう栽培では防乾、防暑のために、まいた上に切りわらまたはもみ殻、完熟堆肥を細かく砕いたもののいずれかで薄く覆っておきます。



発芽したら本葉3~4枚の頃6~7cm間隔に、その後逐次間引き最終株間を15cmぐらいになるようにします。生育中15~20日置きに株の周りに肥料をばらまき、軽く土と混ぜ合わせておきます。



チンゲンサイは下の方の葉と葉の間に隙間ができ、泥跳ねにより土が入りますので、フィルムマルチが有効です。じかまきの場合には、90cm幅のベッドを作り、15x15cm間隔の穴開き黒色ポリフィルムを敷き、穴に5~6粒種をまき、発芽したら込み合わない程度に逐次間引き、本葉7~8枚で1本立てとします。追肥は必要に応じて株間に指先で穴を開けて施します。



育苗の場合にも同じくベッドを作り、あらかじめ15cm間隔の穴開き黒色ポリフィルムを敷き、その穴に本葉7~8枚に育った苗を1株ずつ植え付けます。

種まき後、春は45~55日、夏は35~45日ぐらいたち、草丈が18~20cm、150gぐらいに育ったら収穫します。家庭用ならその

半分ほどに育った頃からミニチンゲンサイとして収穫、切らずに株ごと料理に用いるのも良いでしょう。



ミニチンゲンサイ  
丸のまま調理に



良品は葉柄が太く  
尻が膨らんでいる

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。



## タテのカギ



- ② 在校生の送辞に対する卒業生の返事
- ⑤ 15日間ある大相撲なら8日目
- ⑦ ケーキを焼く前にオーブンを——した
- ⑨ 大学——に向けて受験勉強しています
- ⑪ 日によって値段が変わるメニューにはこう書かれます
- ⑫ 宇野重吉と寺尾聰、渡辺謙と杏
- ⑬ 国民の三大——は教育・勤労・納税です
- ⑯ 食材をいぶして作ります
- ⑰ 石原裕次郎のヒット曲『——よ今夜も有難う』
- ⑲ 豚カツの衣の一番外側
- ⑳ 永世中立国として有名。首都はベルン

## ヨコのカギ



- ① お内裏さま、五人ばやしといえ
- ② 胸びれを広げて滑空します
- ③ ——学生、修道——
- ④ ラディッシュとも呼ばれます
- ⑥ 水を多めに入れて炊いた米
- ⑧ ドライバーで締め付けます
- ⑩ とっくりを持ってお——した
- ⑬ 円を描くときに使う文房具
- ⑮ 大、小、裸から連想される穀物は
- ⑰ 定規を使うとききれいに引けます
- ⑲ クルミやドングリが似合う小動物

二重マスの文字を A ~ E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

|   |   |    |    |    |    |    |
|---|---|----|----|----|----|----|
| 1 | 5 | 9  |    | 14 | 18 |    |
|   |   |    | D  |    |    |    |
|   | 6 |    |    | 15 |    | E  |
| 2 |   |    | 12 |    | 19 | 21 |
|   |   |    |    |    |    |    |
|   |   | 10 |    | 16 |    |    |
|   |   |    |    |    |    |    |
| 3 | 7 |    | 13 |    | 20 |    |
|   |   |    |    |    |    |    |
|   | 8 | 11 |    | 17 |    |    |
|   |   |    |    |    |    |    |
| 4 |   |    |    |    |    | B  |

答え

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| A | B | C | D | E |
|---|---|---|---|---|

## 応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で地区本部毎に5名の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒685-0016 隠岐郡隠岐の島町城北町151  
JAしまね 隠岐地区本部 「クイズ」係  
平成30年3月5日（月）（当日消印有効）

## ◆先月号の答え◆ 「フキノトウ」

|   |   |    |    |    |    |
|---|---|----|----|----|----|
| 1 | 6 | 9  | 14 | 18 | 21 |
| ト | ウ | キ  | ノ  | ト  | ウ  |
| 2 | 5 | 10 | 15 | 20 |    |
| シ | コ | ノ  | リ  | ソ  | ト  |
| 3 | 4 | 8  | 12 | 16 | 20 |
| ユ | キ | ミ  | セ  |    |    |
| 4 | 3 | 7  | 11 | 15 | 19 |
| ク | チ | バ  | シ  | ア  | イ  |
| 5 | 2 | 6  | 10 | 14 | 18 |
| フ | エ | リ  | ヨ  | ホ  | ウ  |
| 6 | 1 | 5  | 9  | 13 | 17 |
| ク | ス | リ  | オ  | ト  | モ  |

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

## 健康 耳

けんこうさんぽ  
JA島根厚生連

# 耳の健康と衛生チェックをしよう

耳は、私たちが生活をしていく上で外部から音の情報を得るための大切な器官です。ところが、耳の健康については、「聞こえ」が悪くなる症状が出るまで、あまり気にしない人が多いのではないのでしょうか？ 耳の病気には、ある日突然原因不明で片耳が聞こえなくなる「突発性難聴」や、耳の奥に炎症を起こす「中耳炎」「内耳炎」など、早めに治療しないと「聞こえ」のレベルが下がったままになるものもあります。耳の不調を感じたら、まずは耳鼻咽喉科を受診しましょう。

### 「こんなときは耳鼻咽喉科を受診を」

- ・ 耳が塞がった感じがする
- ・ 音が響いて聞こえるめまいがする
- ・ 耳鳴りがする耳が痛い
- ・ 普段と違う耳垢（みみあか）がとれる

普段も耳を掃除するときには、つぎの点に注意して行いましょう。

耳の掃除の目安は、2〜3週間に1回程度。耳垢には皮膚を保護したり、虫の侵入を防いだりする役割もあるので、掃除し過ぎないことが大切です。耳の掃除には耳掻きや綿棒を使いましょう。マッチ棒や爪楊枝など耳掃除用でない物は、使うと外耳道を傷つけてしまいます。使用後の耳掻きは、アルコールが含まれたウェットティッシュで拭くなどすると衛生的です。

来月、3月3日は日本耳鼻咽喉科学会が定める「耳の日」です。この機会に、耳の健康についてチェックしてみませんか？



JAしまねびより1月号の記載内容に関するお詫びと訂正

P.9・平成29年度島根中央子牛共進会結果報告  
第2区4席 出品No.34 (誤) 松浦 雅子 ↓ (正) 松浦 正子  
謹んでお詫びいたしますとともに、訂正させていただきます。

生産者の  
皆様へ

生産者の声を反映した

## 大型トラクターの共同購入提案 / スタート

JA全農は、担い手からの生産コスト低減要望に応え、生産現場の声を反映した60馬力クラスの低価格モデルトラクターの共同購入に取り組んでいます。「共同購入の取り組み」をわかりやすく生産者に伝えるパンフレットとDVD（動画）を作成し、1月18日、全農ホームページ（リンク先 <http://www.zennoh.or.jp/teicost/nouki/index.html>）に公開しました。今後、パンフレットと動画は担い手への個別訪問時や会議・研修会等の場で広く紹介していきます。

共同購入の目標台数は全国1,000台（平成30～32年・3か年）で、県域担い手サポートセンター、県域TAC部署の協力を得ながら生産者への提案活動を行い、平成30年3月末までに共同購入事前申込書のとりまとめをすすめています。

JAグループの組織力を活かし、広く生産者に共同購入を呼びかけ、事前申込で積上げた台数を背景に全農が大量・一括購入することで、担い手へより安く供給することをめざします。

## 全国の生産者が共同購入に結集し低価格を実現しよう！

JAグループは、生産現場の声を反映した大型トラクターを開発要求しました。



平成31年4月採用

## 「JAグループ島根就職説明会」の開催

とき 平成30年3月25日(日) 受付12:00～  
開催12:30～16:00

ところ ラピタウェディングパレス 3F 鳳凰の間  
出雲市今市町87 TEL:0853-21-6063

【対象】 大学・短大・高専・専修学校を  
平成31年3月に卒業見込みと  
3年以内に卒業した方

【お問い合わせ先】

〒690-0887 島根県松江市殿町19-1

JALしまね 人事教育部 人事課

TEL:0852-35-9016

FAX:0852-35-9024

ホームページ <http://ja-shimane.jp/>

E-mail [jinja.hon@ja-shimane.gr.jp](mailto:jinja.hon@ja-shimane.gr.jp)

※会場にはJALしまね各地区本部と、一部連合会等のブースが設置されています。  
※当日は、エントリーシートを持参してください。エントリーシートは3月1日以降に右記JALしまねのホームページの「採用情報」のページあるいは地区本部、連合会等のホームページからプリントアウトしてください（複数のブースの説明に参加される場合にはブース毎に準備ください）。  
※就職説明会への参加の有無が採用選考に影響することはありません。

参加組織  
JALしまね  
JA島根厚生連  
(一社)JA島根電算センター

JALしまね

島根県農業協同組合

マイナビ2019  
マイナビでエントリー受付中





臨床試験で  
確認済!

## 目のピント調節 機能をサポート

本品にはアスタキサンチンが含まれます。アスタキサンチンは、正常な目のピント調節機能を維持することで、日常的なパソコンなどのVDT作業による疲労感を軽減することが報告されています。

機能性表示食品

●届出番号: A299

パソコン・スマホが  
手放せない方に



**Kyoyaku**  
**アスタキサンチンプラス**  
60粒 (30日分) / 4,500円 (税込4,860円)

1日の目安2粒



ピントが  
合いにくい。

こんなこと、ありませんか？

- ✓ 近くを見る時、ピントが合いにくい
- ✓ パソコン・スマホを、1日中使っている
- ✓ 目の疲れが取れにくくなった気がする

お問  
い合  
わせ

クミアイ家庭薬配置員 または

協同薬品工業(株)島根営業所 ☎0853-73-7430



クミアイ家庭薬

# 島根県産生乳を飲んでにゃ〜!

地産  
地消

パッケージが新しく  
なりました。

島根県産生乳100%  
使用のこだわりの牛乳

New!!



問い合わせ先

島根中酪株式会社 ☎(0853)22-5300 E-mail: churaku@m1.izumo.ne.jp  
〒693-0065 島根県出雲市平野町302番地

## 豚肉の塩みぞれ鍋



大根を1本全部使って作る、つけだしなしで食べられる、とってもおいしい塩味の鍋です。スープも全部飲めます。寒い日に体も心も部屋もほかほか温まります。

## ●材料 (4人分)

豚肉……………400g  
だし汁……………3カップ  
酒……………1/4カップ  
にんにく……………1かけ  
白菜……………4枚  
えのき……………1袋

## 1人分285Kcal

しめじ……………1袋  
焼き豆腐……………1/2丁  
水菜……………1/2袋  
大根……………1本  
しょうゆ……………小さじ1  
塩……………小さじ2

## ●作り方

- ①豚肉は食べやすい大きさに切る。
- ②大根はすりおろす。
- ③白菜は4～5cmに切る。
- ④しめじ、えのきは石づきを取り、ばらす。
- ⑤水菜は4～5cmに切る。
- ⑥鍋にだし汁、酒、つぶしたにんにくを入れ火にかける。
- ⑦煮立ったら、豚肉、白菜、しめじ、えのき、焼き豆腐を入れる。
- ⑧塩、しょうゆで味付けし、大根おろしを加えひと煮たちさせ、水菜を加える。

## カブサラダ



大きく切ったカブの食感とクルミの食感がおいしいサラダです。マヨネーズを減らしヨーグルトで和えるのでヘルシーです。5分もあれば完成なので、生のカブの甘味を楽しんで食べてみてください。

## ●材料 (2人分)

白カブ……………1～2個  
カブの葉……………1/2個  
クルミ……………20g

マヨネーズ……………大さじ1  
ヨーグルト……………大さじ1と1/2  
レモン汁……………小さじ1/2  
オリーブ油……………大さじ1/3  
黒コショウ……………少々

## ●作り方

- ①カブの葉は小口切りにし軽く塩でもみ、しんなりしたら水洗いししぼる。
- ②カブは皮をむき半分に切り繊維にそってくし形に切る。
- ③ボールに調味用を入れ、カブ、カブの葉を入れ混ぜる。
- ④皿に盛ってから粗く刻んだクルミを乗せ、黒コショウをふる。

## 表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は、石見神楽です。石見神楽は、島根県西部(石見地方)で受け継がれている伝統芸能で、日本神話などを題材とした、演劇性の高い神楽です。描かれているのは演目「道返し(ちがえし)」で、常陸(ひたち)の国に住む武甕槌(たけみかづち)の命(みこと)が世界各地を荒し廻った大悪鬼を退治する神楽です。石見神楽では珍しく鬼が降参し、許されると言う形で終わり、鬼を殺さずに道の途中から返すので道返しといひます。

## 編集後記

今月の表紙に描かれている石見神楽は、私の出身の石見地方でもとてもなじみ深いものです。祭りなどではいつも演じられていて、笛や太鼓の音を聞くと気持ちが高まります。中でも、よく最終演目で演じられる八岐大蛇(やまたのおろち)は、演出が派手で私も大好きです。(藤)

## 【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっております。原画の全体は次のとおりです。

